

第5回（仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会 会議概要

開催日時	令和4年9月29日(木曜日)14時00分から 16時00 分まで
開催場所	生涯学習センター5階 交流ホール2
出席者	<p>【委員】出席14名</p> <p>小沢謙一 委員、中村美香 委員、羽賀康明 代理、田中健一 委員、高井俊幸 委員、本間慎一 委員、高橋淑浩 委員、肥田野正明 委員、片山良治 代理、井嶋猛 委員、和田徹 委員、松平信治 委員、音瀬肇 委員、萩野正和 委員</p> <p>【事務局】</p> <p>都心のまちづくり担当理事、都市政策部長、都市政策部</p>
傍聴者	1 名
報道機関	3 社
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事内容</p> <p>(1)今後の進め方</p> <p style="padding-left: 2em;">＜事務局より説明＞</p> <p>(2)第 4 回懇談会での意見等に関する回答・説明</p> <p style="padding-left: 2em;">＜事務局より説明＞</p> <p>(3)将来ビジョン(素案)について</p> <p style="padding-left: 2em;">＜事務局より説明＞</p> <p>(4)将来の新潟駅・万代地区周辺での過ごし方について</p> <p style="padding-left: 2em;">＜事務局より説明＞</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p> <p>【議事(2)についての主なご意見】</p> <p>議論の進行：萩野委員</p> <p>(松平委員)資料4の歩行者交通量の属性について「居住者と通勤者、来街者」の違いは何か。</p> <p style="padding-left: 2em;">→(事務局)対象地から半径 200m程度の円の範囲内で居住している人は「居住者」、範囲内に務めている人は「通勤者」、それ以外は「来街者」となる。</p> <p>(音瀬委員)時期や天気等で交通量の傾向に違いがあると思う。また違うキャリアでみて同じ傾向がでるのか、そのあたりは継続的にやっていくことでよいのか。</p> <p style="padding-left: 2em;">→(事務局)今後はスタディとして特定の期間で整理したところである。データを取る方法はいろんなパターンが考えられ、その中でもスマホにアプリを入れて抽出するのが正確と聞いている。今後もデータの取得方法について検討し、ビッグデータを活用した地区特性の把握を継続していきたい。</p>

・(本間委員)東大通の東側と西側では歩行者量が大きく違う。その解消のためにもスクランブル交差点は必要と考えられ、検討をしていただきたい。それにより、花園ルートや弁天ルート含めた範囲での回遊性向上にも寄与すると考えている。

・(音瀬委員)アプリについて、富山では徒歩活ということをやっている、成功していると聞いている。スマホを使う等の条件があり高齢者までは浸透していないが、ポイントを貯めて商品が当たるなどアイデアが詰まっているようなので、参考にしてみると良いかもしれない。

→(萩野委員)データをみると来街者が多いので、来街者が使いたくなるサービスでデータを取ることができると良い。アムステルダムは市民も来街者もシティカードがあり、来街者も生活者と同じサービスが受けられる。そういったことも参考に手法についてもアイデアを出し合っていると良い。

【議事(3)についての主なご意見】

議論の進行:萩野委員

■将来ビジョン(骨子)(資料5)

・(高橋委員)花園地区には5つの専門学校があり、朝晩の登下校の時間帯は学生が多い。一方で18時以降になると飲食店への来客が多くなる。花園地区も置いていかれないようにがんばりたい。

・(高橋委員)近年増えている大雨・豪雪等に対する対応についても考える必要がある。また、近年マンションが増えており、防犯面など住んでいる方々の安全・安心の確保も必要である。コロナ対策を含めて衛生対策の強化も図っていただきたい。

・(本間委員)花園のアーケードは、老朽化がさらに進んだ際にどうなるか。

→(事務局)アーケードは商店街が設置管理しているので商店街の意向による。最近、国もアーケードの改修への補助を縮小している動きがある。

→(本間委員)景観からみれば撤去も考えないといけないと思う。

・(田中委員)冬にどうするかという言及がない。過ごし方のイメージについても雪や雨の状況がない。そこを言及せずに進めてよいか。

→(事務局)除雪は市全体の計画に基づき、排水も年次計画で進めている。それらの計画との整合は必要だが検討してみる。

・(松平委員)3ページの機会のところで、環境・防災・SDGsはまとめてしまわず、環境と防災は分けるなど2つくらいに分けた方がよいと思う。

→(事務局)先ほどご意見があった雪のことなど、季節性の観点からも書き分けることを検討したい。

- ・(松平委員)3ページの下の吹き出しの意味は。なくても良いのでは。
- ・(音瀬委員)2ページのビジョンの位置づけについて、ビジョンの先にやることにも言及した方がよいのではないか。つくって終わりのように見えないよう工夫した方がよい。それに加えて、これまでの成り立ちのなかでも駅が新しくなることは大きな話。100年に1回くらいの更新なので、そういうことも書けると良い。
 - (事務局)2ページの表現は工夫してみたい。後者のご意見はところどころ書いてはいるが、もう少し目立つような表現を考えてみたい。
- ・(田中委員)取組欄の記載で「民地の統一した景観」とあるが、個性と多様性を大事にしたい面もある。どういう意図で書いているか。
 - (事務局)弁天通は個店がひとつひとつ個性がある。統一した景観とは、弁天ゲートストリート全体としてまとまりのある雰囲気のある景観を形成したいという意図で書いている。
 - (田中委員)そういう説明ならわかるので、誤解を招かないためにもそのように記載していただきたい。
- ・(小沢委員)みなとまちストリートの「ものづくり工場」とは唐突ではないか。
 - (事務局)ちょうどこの角地にクラフトのようなお店もあり、そういったところから膨らませたイメージである。
 - (小沢委員)そうすると工場ではなく工房が正しい。
- ・(小沢委員)立体駐車場の1階部分はオープンな店舗となっているが、こういう計画があるのか。
 - (事務局)所有者とは今後調整が必要となるが、望ましいイメージとして書いている。
 - (小沢委員)全体として、決定したものではないという注釈を書いた方がよい。
- ・(高井委員)商業が拡散していくイメージに捉えられないように注意が必要である。また、電動キックボードについては賛否両論がある。花園ゲートストリートで地元が進めていくように見えるが問題も多いので、表現には注意された方がよい。
 - (事務局)頂いた意見も踏まえ、表現方法は検討する。
- ・(本間委員)青写真だけではわからないところもあり、今後必要に応じて随時手直ししていくべきである。また電動キックボードは問題になっている面もあるので必要に応じて見直しが必要になるかもしれない。ビジョンはずっと固定ではなく、変えていくべきものではないか。
 - (事務局)おっしゃるとおりである。将来ビジョンはある程度先取りしたイメージを出している。どのくらい夢を織り込んでいくかは議論していきたい。
 - (萩野委員)ビジョン自体の柔軟性も必要だと思う。
- ・(肥田野委員)駅南ストリートについて、前回資料にはイルミネーションがあったが、それが無くなっ

ているのはなぜか。

→(事務局)イルミネーションは別の資料には記載しているが、こちらにも記載を追加する。

・(肥田野委員) 駅南ストリートのページのなかで駅前広場と南口中央広場という言葉はあえて使い分けているか。

→(事務局) 駅前広場は南北両方を合わせた広場を指すため、このページでは南口中央広場に統一する。

・(肥田野委員) 取組のところに「エアーマネジメント」とあるが、エアーマネジメントをやっていくことが決まっているのか。

→(事務局) 万代広場とも一体的にマネジメントを検討していく必要があるということで書いている。その意味で⑤東大通ストリートのページにもエアーマネジメントに触れるようにする。

・(片山代理) 居心地の良い空間づくりを目指していることは良く伝わる。一方で DX やイノベーションといったことは将来の姿をもっと入っていると良い。

→(事務局) 新たなモビリティやデジタル技術を持つ企業が集まってほしい。モビリティも将来の乗り物や無人店舗など最新の技術やサービスが新潟駅・万代地区で最初に提供されるようになってほしい。

・(高橋委員) 夜の街には触れなくてよいか。客引きなどの問題もあるが。

→(事務局) 後ほど、ライフスタイルを場面ごとに描いているものがある。

→(萩野委員) 方針3で安全安心を示している。そこで文言でも拾えると良い。

・(本間委員) イルミネーションは南口のケヤキ通りはできているが駅前ではできていない。みんなで協力してやるのが大事だと思う。

→(萩野委員) まさにそういうことを実現するためにプラットフォームが必要ということも 24 ページの体制のところでは書いている。ビジョンを作って終わりではない。

・(小沢委員) エリアプラットフォームについては、言葉はなんとなくわかるが皆さんの想いがバラバラで共有できていない。どんなことをやるか、自分の役割など共有していくことが必要ではないか。

→(萩野委員) 今回以降で議論を進めることになっている。そのような場でさらに議論していきたい。

・(中村委員) ストリートの顔が見えてきた印象である。電動車いすを使い始めてわかったのは、乗り降りする場所が少ないこと。屋根がかかったところで乗り降りできないと不便であり、そういったことも含めて道路の使い方を詰めていけると良い。

・(中村委員) 市民意見募集はぜひやっていただきたい。ストリートの姿については異論もあるかもし

れないが、掲げたコンセプトがブレないように対応してほしい。

- ・(小沢委員)自転車レーンが花園ルートには出てくるが、弁天ルート等には出てこない。花園ルートではモビリティとの共存を図り、弁天ルート等では歩行者中心の空間づくりを目指すとの認識で良いか。

→(事務局)そのような認識のもとパースを描いている。

【議事(4)についての主なご意見】

議論の進行:萩野委員

■将来の新潟駅・万代地区周辺での過ごし方について(資料6)

- ・(高橋委員)教育機関は若者が新潟から出ていかないようにがんばっている。「専門学校生」という表現を加えてほしい。

→(萩野委員)「大学生」を「学生」に変えるように対応したらどうか。

- ・(本間委員)鍵となるのは女性。県外に進学、就職で新潟に戻ってこない女性が多いが、戻って来なくなるように、働きやすく、子育てしやすいようなイメージを形成したい。

→(中村委員)女性が子育てする時間は確かに長いが、男性も育休を取るようになってきている。

子どもが遊べる場所がたくさんあると、(1)のようなファミリーも出てくる。むしろ中高生が将来働くイメージを持ってもらえるような表現が南口あたりで出せると良い。

- ・(井嶋委員)見ていてワクワクするような、夢がないとビジョンの段階ではだめだと思う。またウォークアブルがテーマになっているが、冬場のことにも触れる必要があると思う。

- ・(田中委員)雪に触れていないのと同じく、駐車場について触れていないのはどうか。駐車場は集約していくとすればそのイメージも出した方が良いのではないか。

以上